

報告書（統計法（平成19年法律第53号）第36条関係）

年 月 日

独立行政法人
統計センター理事長 殿

法人申出の場合は
代表者名としてください。

提供依頼申出書の最初の
日付を記入ください。

所属及び職名 ○○大学○○学部准教授
氏 名 統計 太郎
連絡先所在地 123-4567
東京都新宿区○○町001
○○大学○○学部○○研究室
連絡先電話番号 03-0000-0000
連絡先e-mail toukeitarou@nstac.go.jp

令和●年●月●日付け依頼書により提供を受けた匿名データによる**学术研究（教育／事業）**が完了したので、下記のとおり報告します。

記

1. 提供を受けた匿名データの名称
 就業構造基本調査 平成4、9、14年
 社会生活基本調査（調査票A・生活時間編） 平成13、18年

2. 統計又は統計的研究の成果の概要等
 (1) 統計又は統計的研究の名称
 ○○の就業状況に関する研究
 (2) 匿名データを利用した期間及び研究の実施期間等
 平成●年●月～令和△年△月

(3) 統計又は統計的研究の成果の概要（匿名データを利用して行った研究の成果、教育内容、国際比較の結果、国際比較統計等の提供の状況又は事業等の内容の概要を含む）

※ 記入しきれない場合は、別紙に記載し当該別紙を添付する。

匿名データを用いて、若年層の雇用状況と就業形態に関する基本的な特徴について分析を行った。さらに、若年者の就業行動に影響を及ぼす社会的経済的要因を明らかにするために、個人の社会的属性や、継続就業年数や従業者規模等の就業に関する属性を説明変数とした回帰分析を行った。その結果、以下のことが明らかとなった。

第一に、、、、

第二に、、、、

(4) 匿名データを利用して行った研究の成果、教育内容、国際比較の結果、国際比較統計等の提供の状況又は事業等の内容の公表（統計法第36条第2項の規定により準用する同法第33条第4項の規定により行う公表を除く）

- ・論文（名称：○○大学○○研究所研究彙報 時期 令和●年●月）
- ・報告書・書籍（名称： 時期 令和●年●月）
- ・学会・研究会等で発表（名称：統計関連学会連合大会 時期 令和●年●月）
- ・学会誌等に掲載（名称： 時期 令和●年●月）
- ・その他（ 時期 令和●年●月）

○ 上記の発表時期（※予定の場合その予定時期を記載）

※ 上記内容について、インターネット上に関連の掲載がある場合は、併せてリンク先を掲載すること。

リンク先 URL : <http://www.~>

公表した研究の成果、教育内容等について、インターネット上などから一般的に入手できる場合は URL を記載してください。インターネット上などから入手できない場合は、発表資料や別刷の送付などをお願いします。
 ※送付していただいた内容は miripo(マイクロデータ利用ポータルサイト)の利用実績に公開されます。

(5) 公表関係 (統計法第36条第2項の規定により準用する同法第33条第4項の規定によるもの)	
公表事項	公表内容
① 統計の作成又は統計的研究を行うに当たって利用した	上記1と同じ
統計の作成の場合、単純にクロス集計を行ったものなのか、何らかの推計を行っているのか (集計用乗率を用いているのか) 等、統計的研究の場合、どのような分析手法により研究を行ったのかについて具体的に記載してください。	匿名データを用いて、若年層の雇用状況と就業形態に関する基本的な特徴について分析を行った。さらに、若年者の就業行動に影響を及ぼす社会的経済的要因を明らかにするために、個人の社会的属性や、継続就業年数や従業者規模等の就業に関する属性を説明変数とした回帰分析を行った。
雑誌等の名称及び掲載年月日	〇〇大学〇〇研究所研究彙報 VolXX 時期 令和●年●月●日
※ 上記③は、(4)の公表のうち代表的なものかつ一般的に入手が困難でないものとする。 ※ 上記以外の公表事項の公表内容 (統計若しくは統計調査報告書、依頼書 (統計法 (平成19年法律第53号) 第...)) ○ 統計若しくは統計的研究又はその概要に記載すること。 (令和●年●月に予定されている学会における発表終了後まで、非公開としていただきたい。)	学術雑誌に限らず、(4)に記載の公表方法について代表的な成果を記載してください。
本報告書が提出されてから3か月以内に miripo へ内容が公開されます。公開を何らかの事情で延期したい場合などがあれば、公表希望時期とともにその理由を記載してください。	
3. 匿名データの利用後の措置状況	<ul style="list-style-type: none"> 措置の方法: 提供を受けた匿名データを返却、複製データ及び中間生成物について専用ソフトを用いて復元できないように消去、メディアシュレッダーで破棄 措置を行った年月日: 令和●年●月●日 措置の責任者名: 統計 太郎

備考

- やむを得ない理由により研究等が中断した場合など「2. 統計又は統計的研究の成果の概要等」が示せない場合は、該当欄に中断するまでに実施した内容等を示すとともに、結果を示せない理由を記載すること。
- 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

管理簿に記載の「管理責任者」名にてお願いいたします。